

皇后杯 第34回 全国女子駅伝

開催日:平成28年1月17日(日)

場所:西京極陸上競技場スタート・ゴール

種目	名前	学年	記録	着順	備考
1区6km	床呂 沙紀	3年	20分19秒	区間38位 (47チーム)	三重県チーム 総合25位
9区10km	渡部 貴江	2年	35分05秒	区間45位 (47チーム)	岩手県チーム 総合37位

【山本コメント】

34回の歴史がある都道府県対抗の全国女子駅伝。42.195kmの距離を社会人、大学生、高校生、中学生ランナーが9区間にわたってタスキをつなぐ。郷土色が強く出る大会で、会場では県人会による地元応援も多い。今回、北海道陸協から旭川市出身の田中愛里に、岩手陸協から盛岡市出身の渡部貴江に、三重陸協から松阪市出身の床呂沙紀に出場要請があり、それぞれが代表チームの一員として参加した。

床呂が1区6km、渡部が9区10kmを担って走った。1区、9区は、各チームのエース級が走る区間であり、区間順位としてはあまり良いものではなかったが、エース区間を任命された責務を果たそうとベストを尽くしてタスキをつなぎ、チームの成績に貢献できた。田中は、今回は控えに回ってチームのサポートに尽くしたが、次の機会には今回の経験を活かして、ぜひ北海道チームの躍進に貢献してほしい。

郷土の都道府県代表の選手として走れることは、たいへん光栄なことである。来年以降もさらに多くの部員が出場要請を受けられるよう、また出場できた暁には各チームの上位進出に貢献できるよう期待したい。